

外國爲替手形： 雜録

著者	有馬，純臣
雑誌名	龍南會雜誌
巻	2 9
ページ	3 4 - 3 9
発行年	1894-10-01
その他の言語のタイトル	外国為替手形： 雜録
URL	http://hdl.handle.net/2298/4432

の光明を求む。アニソフ、ウチーブウチースの如きも、只一時の憂愁を詠せしものを繙くときは或は又厭世家にはあらざるかを憐むあり。されどこは明月に叢雲の懸りたると同じきもの。天の戸を通ふ風は直に叢雲を吹き拂ふあるべし。大洋や颶風浪を瀾え、動搖震盪す、さればこは大洋の眞想なりと思ふは癡目なり。静うも深底に趣かば海波の動搖露にらむ處あらむ。芙蓉峯頭白雪皚々として千古の偉觀を呈するも、白雲これを被ふこと往々なり。さるを富士は偉觀あらすと云ふは誤らずや。樂天的詩人に於てもまた然り、折にふれては、なしかは涙を催はし。心を苦めざらむ。されどはてには必ずその苦痛困難に打勝るあり、樂天的詩人の特異點は茲にこそ存す。

(道念的詩人の樂天的詩人と普通に樂天の詩を歌ふ樂天的詩人との差異は厭世的詩人を論ずるとき是を説くむ)

追白、賢明なる兩批評家先生より痛撃ある御批評被下難有奉存候。孰れ此論完終の上必ず御答辯可申上候。願はくば責任ある御批評あらんことを乞ふ。

雜 錄

外國爲替手形

教授 有馬 純 臣

爲替とは遠隔する兩地の間に起れる負債を償ふに當つて、現金を輸送するの失費并に危險を省く方法にして、其際使用する一片の証券は即ち爲替手形なり。爲替には内國爲替、外國爲替の別ありと雖も、其理異なることなし。今茲に外國爲替手形の功用、種類、相場等の一斑を説明せん。

若し我國の甲が英國の乙に若干の貨物を送り、又英國の丙が我國の丁に同價の貨物を送りたるあらば、乙より甲に、丁より丙に向つて、正金を輸送して其代價を拂はざるべからず。然るに今爲替法を用ゐ、甲が乙に宛てたる手形を發すれば丁は此手形を買ひ、之を英國に送り、丙に對する負債を拂ふことを得べし。然るときは丙は此手形を乙に示し乙より正金を受取るべし。是に於て正金は只丁より甲に、乙より丙に移るのみにて、兩國の間に現金を送附する荷造費、運送費、保險料を二重に拂ふを要せず。又、負債の整理を爲すを得べし。爲替の功用は斯の如く甚大なり、而して實際は丁は爲替手形の需用者なれども、誰が其供給者あるやを知り難く、又適々供給者を見出すと雖ども、其手形が已れが送らんと欲する金高と同額あること稀なり。故に銀行其間に在りて媒助となり、手形を買入れ手形を所望する者よは、何程にても入用丈の金高を記入せる手形を作り、之を交附す。而して買入れたる手形は之を外國の支店或は代理店に送りて取立を爲さしむ。又手形の賣買人と銀行との間には、爲替仲買人あるものありて、双方の賣買を周旋す。

爲替手形には期限上三種の別あり、參着渡、日附後何日（又は何月）渡、一覽後何日（又は何月）渡と云ふ。參着渡りとは、手形外國に到着し、支拂人は請求を受け次第直ちよ之を拂ふものを云ひ、日附後何日渡りとは、手形に記入したる振出しの日より起算し、一覽後何日渡りとは、支拂人一覽承諾したる日より起算して若干日の後に支拂ふものを云ふ。手形の取扱上より見るときは、直接の取引を表すものと、間接の取引を表すものとの二種あり。直接の手形とは、支拂人が振出人に對する負債を示し、甲國より乙國に貨物を輸出したるとき、甲の商人が乙の商人に宛て振出したるものを云ひ、間接の手形とは、支拂人が振出人に對する負債にあらずして、第三者が振出人に對する負債を表し、甲よ

り乙に輸出を爲したるとき、甲の商人が丙の商人に宛て發したる手形を云ふ。而して丙の商人は只支拂の媒介とあるのみよして、其貨物の賣買には少しも關係なく、他日乙の輸入商より更に爲替の方法に依て代價を得るなり。又手形を買ふて送金せんと欲する者も、間接に爲替を送る方費用少しと思ふときは、其方法を用ゆ、當時英國は此丙國の地位に立つものにして、國際貿易の有様を考ふるに、世上他の國々の間には相互の輸出入を爲さずと雖ども、英國と取引をなさざるもの稀あり。此の如く英國は貿易の中心世界の大市场あるを以て、間接の手形は多く英國に宛てらるゝあり。又手形の目的上眞手形空手形の別あり。眞手形とは、輸出品の代價、貸金の利足等支拂はるべき財源の確定したるものにして、不渡とすること極めて少し。空手形とは、負債ありて後起りたるものにあらす、眞手形とは全く相反して、振出人が支拂人に對して債を負ふものなり。而して是れ元より約束上より成るものにして、手形の期限前に振出人より支拂人に金員を送附し、又は彼をして同一の手形を發して之を賣却し、其代價を以て支拂を爲さしむ。而て其手形期限に達するときは、又々空手形を發して支拂を濟ませ、再三再四此の如くにして金融を助くるあり。然れども空手形は確實ある財源なきものなれば、往々不渡となることあり、故に手形の割引は従事するものは、常に此點に注意して不慮の損失を避くるなり。

此外國爲替手形の相場は如何して定まるやと云ふに、普通の商品と同じく、需要供給に依りて定まるものあり。故に甲乙兩國間の負債は差異なきときは、兩國にて爲替の需要供給相平均し、其相場高低なく手形面の金額は均しかるへし、之を平價と云ふ。然れども國際の負債は實際此の如く相均しきものにあらす、又支拂の期限一を以て、甲國にて乙國より多くの物品を輸入するときは、其國

て、手形の需要供給に超過し其價騰貴すべく、之に反して乙國にては手形の供給需要より多く其價下落すへし。而して元來外國爲替の目的は、國と國との間に正貨を輸送するの費用を省ふんとするに在るを以て、手形の需要何程其供給に超過するも、手形面の金高に此輸送費を加へたるものより多きとを得ず。又其供給需要より多しと雖ども、額面より此諸費を減したるものより下落することなし。然らざれば手形を用ゐず正貨を輸送して負債を拂ふべき、此兩端を正貨輸送點と稱す。元來爲替は兩國にて貨幣の制同一あるとき、又は金貨國と金貨國、銀貨國と銀貨國あらば、貨幣の名稱量目相異かりと雖ども、左程錯雜せる問題にあらず。然るに我國と英米諸國との如き、銀貨國と金貨國との爲替に至りては、單に手形の需要供給に依つて其相場變動するのみならず、地金銀の價の變動の爲め非常の影響を受け、其上一下より利不利を生ずるを以て、貿易家は常に倫敦の銀塊相場の變動に注意するあり。爲替相場を表はすに二様の法あり、自國の貨幣を以て外國の貨幣の價を表するもの、及び外國の貨幣を以て自國の貨幣の價を示すものはあり。米國にて倫敦參着四弗八十五仙と稱するは、英貨一磅の相場を自國の貨幣にて記せるなり。又本年九月六日の大阪朝日新聞に

倫敦參着 貳志貳片四分の壹

四ヶ月渡 貳志三片〇〇

紐育參着 五拾三弗〇〇

四ヶ月渡 五拾五弗貳分の壹

里昂參着 貳法七拾五參

四ヶ月渡 貳法八拾四參

香港參着 (割引)七拾五仙

上海參着 七拾二兩四分の壹

孟買爲替 百九拾三ルーピ

とありて、其倫敦參着貳志貳片四分の壹と稱するは、我銀貨一圓の相場を彼國の貨幣を以て表はしたるものあり。里昂の貳法七拾五參と稱するも亦然り。紐育、香港、上海、孟買は我銀貨百圓に付ての相場あり、香港にて割引七十五仙とあるは、我銀貨九拾九圓貳拾五錢を以て香港通用の洋銀百弗の爲替を買ひ得るを云ふあり。右は皆外國へ送金せんと欲する者が、銀行より爲替手形を買ふ價にして、銀行より云へば賣價あり。而して實際賣出す價は此相場表に掲げたるものより普通の華主には五厘引とる銀行仲間には七厘五毛引と云ふ様な差異あり。又同日同時よても銀行に依りて手形の價多少高低あり。外國へ送金せんと欲する者は、少々高くとも信用厚き銀行の手形を買ふを以て安全ありとす。而して又外字新聞には銀行又は相對^{バンク}と記入えて相場を示せるものあり。其銀行とあるは、銀行が其手形を賣出す價にえて、相對とあるは、商人が振出したる手形を銀行にて買入る、相場なり。又四ヶ月渡、六ヶ月渡等と記せるは、手形を支拂人に示し承諾を得たる日より、四ヶ月或は六ヶ月あることを示すものにして、其價は支拂期日に至る迄の外國に於ける利子の歩合、印税、并に支拂に至る迄、之に伴ふ幾分の危険の補償を參着渡手形の價より減じたるものに均し。凡て期限附のものは之を倫敦に送り、直ちに金員を受取らんと欲せば、其期限間の割引を受けざるべからず。故に其手形の相場參着渡よりは安きものあり。爲替相場の騰貴とは、我貨幣に對えて外國貨幣増加したるものにして、銀の價、金に比して騰貴したるを云ひ、又下落とは、金に對して銀の價減少したるを云ふ。故に手形の金額は支拂地の貨幣の名稱を以て表はし、其額は一定不變あれども、其賣買に支拂ふ我銀貨の額は時々變動するものあり。我國にて生糸又は茶の如き輸出品は、爲替相場下落せるときは、彼國の

購買し、又之に反えて爲替の相場騰貴するときは、彼國の輸入商は我に對して従前よりは多くの貨幣を送らざるべからず。故に物品の需要減じ、我輸出品の價下落するあり。故に各國商業上政治上の問題にして、地銀の價を動かすべきものは、皆我國の爲替相場に影響を及ぼすべし。

以上述ぶる所の俗解は、外國爲替手形の要略にして、只其如何あるものなるやを説明したるに過ぎず。故に今茲に數個の問題を掲げて、經濟學講習諸子研究の一助となす。

一、國際の負債とあるべき要項如何。

二、三角狀の貿易とは如何。

三、空手形を識別するの法如何。

四、平價とは何ぞや。

五、如何ある場合には手形の價正貨輸送點以下に下落するや。

六、兩國共に貨幣の制同一なるときは爲替如何。

七、兩國共に貨幣の金屬同一ありと雖ども、名稱量目異あるときは如何。

八、一方の國に於て磨損等の爲め貨幣法律上の量目を有せざるか、又は紙幣下落せるときは如何。

九、金貨國と銀貨國との場合は如何。

十、單本位國と複本位國との場合如何。

十一、兩國共に複本位あるときは如何。

十二、如何ある政治上の問題が銀價を動かすべきや。